

令和6年度 府中市立府中九中学校 経営計画

1 学校経営方針

府中第九中学校は、九地区の学校として保護者から「地域の中の学校」として愛されている。地域の本校の教育に対する関心は高く、誇りに思い、期待をかけ、応援を惜しまない地域である。保護者の期待に応えるため生徒の健やかな成長を目指して心豊かで将来に夢や希望を抱いてたくましく生きていく力を育てる。そのために、子供たちが学ぶ喜びにきづき励む楽しさを体得できる学校づくりを行う。

自主・自律を育み誠実な人間になることを目指す  
知・徳・体のバランスよい教育実践

自己実現を目指して

- (1)物事を正しく理解し、創造したかめていくことができる中学生(創造)
- (2)人や物に対して思いやりのある仲間とつながる中学生(思いやり)
- (3)健康で活力のある中学生(活力)

【目指す学校像】

人権の大切さを生徒に教え、教師は生徒の模範となる姿勢を示し生徒に寄り添った教育を行うことが大切である。人間としてのあるべき姿を教師は生徒に示し、誰に対しても人権を無視した態度をとることがないように教育に当たる必要がある。

また時代に応じた指導の在り方を考え実践し、社会が生徒に求められていく力をつけることが教育の役目である。生徒の主体性を重視し自主的に物事を行おうという力を育む教育に当たることが大切である。そして協働して物事を解決する場面を作り取り組ませることを忘れてはならない。

- 1 生徒の心の居場所になれる学校(人間尊重の精神)
- 2 生徒が主体的に考え学ぶ喜びにきづき自己決定により夢を実現できる学校
- 3 地域とつながりともに歩み、地域から愛され、誇りに思える学校

【目指す教師像】

- 1 職員全員が気付き高め合い協働して磨き合い課題解決する教職員集団
- 2 業務の 8 割の達成を目標とし、常に新しいものを取り入れようと考え高められる教員
- 3 生徒の多様性を理解し、生徒の良さや個性を伸ばすことができる職員
- 4 人権感覚に優れ、個々の人間性を意識し認め合える教員
- 5 地域、保護者に情報発信を行い地域とつながり信頼関係を築く
- 6 感性を研ぎ澄ます。そのためには教養をみにつける
- 7 教育の今後は、協働的な学習と個別最適化の指導方法の充実である。
- 8 教師は生徒、保護者にとって特別の存在であることをもっと意識する
- 9 地域に住む中学生を教師としてどのように育むかを考える

## 【令和6年度 学校スローガン】

「明日も来たいと思える学校づくり」

「生徒と教師が人間としてたかめ合える関係」

### 2 学校運営の方針

「チーム九中」をスローガンに「和」を図りながら学校力を高める。同じ職場に巡り会った出会いを大切に、明るく楽しい、しかも意欲と活気に満ちた学校にしたい。互いの良さを認め高め合い、また弱点は温かく補い合って組織体の一員としての機能を十分に発揮できるようにする。全ての教職員が魅力ある人間を心がけることでたかめ合える教職員集団を目指す。些細なことと思われることでも、声を上げ共通理解・共通実践を心がける。

### 3 今年度の目標と方策

#### (1) 心の教育の推進

- ①全教職員が生徒と向き合い生徒理解に努める。給食指導は全教員で行う。
- ②特別教室専門員とコーディネーターと連携を円滑に行い、幅広く生徒に対応する。
- ③学校やけやき教室、サポートルーム活用し不登校対応を行っていく
- ④道徳教育を推進し生徒の道徳性と教師の道徳的実践意欲を高める。
- ⑤SDGsの推進を行う。自分たちを見つめ互いに助け合い感謝しあえる気持ちを育む
- ⑥LGBTQの視点に基づいた教育活動を展開する。

#### (2) 健全育成の推進

- ①「早寝、早起き、朝ご飯」を励行し生徒の基本的な生活習慣を確立させる。
- ②健康推進、体力向上を続けさせる。
- ③ルールの意義について自発的に考えさせルールの在り方を考えさせる
- ④校内、校外で場に応じた挨拶ができる生徒を育成する。挨拶運動の奨励
- ⑤時間を意識させ、時間を守る習慣を身につけさせる。
- ⑥生徒の生活習慣を確立するため、学年職員、養護教諭、家庭で連携をとる。

#### (3) 確かな学力の推進

生きて働く「知識・技能」の習得を図り、未知の状況にきづける「思考力・判断力・表現力等」や課題を見出し、解決する力を育て、学びを人生や社会に生かしたかめようとする「学びに向かう力・人間力等」を涵養し、「生きる力」を育成する。

- ①評価評定についての進捗状況を授業、考査等で確認しながら精度を高める。
- ②自学自習ノートを推進する
- ③教科等で生徒のタブレット利用回数を増やし有効的に活用し学力向上を図る
- ③テストのための学習から学ぶ意義とらえた学びを持続させる取り組みを行う
- ④学校全体でSDGsの取組を考えた教育活動を展開する。
- ⑤学習支援員、ICT支援員等を活用し授業での生徒のタブレット活用を積極的に行う
- ⑥生徒同士がつながり、意見交換を行う時間を確保し、協働的な学びから自分の学習を振り返りながら深い学びにつながるよう授業を行う
- ⑦ユニバーサルデザイン化された授業で、授業を視覚化させねらいに迫る授業を行う
- ⑧数学科、英語科での少人数指導を通し、個に応じた指導と協働的な学習を推進し自

主的自発的に学習に取り組める生徒を育成する。

#### (4) 体力向上の推進

- ①体力テストの分析を行い保健体育科で本校の弱み克服のための手立てを考えた授業展開を継続する。
- ②今までの東京都研究協力校としての取組を活かし、体力向上を図ることを継続する
- ③昼休み、体育の時間、クラブ活動等で体を動かすことの楽しさを味合わせ自ら体を動かすように促す
- ④ガイドラインに沿ったクラブ活動を充実させることで体力の向上を図る

#### (5) 生徒の生活環境等の整備

- ①ユニバーサルデザインを意識し、生徒の学習意欲が高まる環境に整える
- ②言語環境を整備し互いが尊重できる人間関係を育む
- ③スクールカウンセラー等を活用により個に応じた対応を行う
- ④特別支援教室、サポートルーム等を活用し個に応じた対応を行う
- ④生徒理解を深める体制を確立し、教育相談を充実させる
- ⑤校内委員会、生活指導部会を通し生徒理解を深める

#### (6) 地域連携を積極的に行い、地域に根ざした学校を目指す

- ①スクールコミュニティの協力のもと、保護者、地域の連携を図る
- ②年5回の公開日では保護者、地域に学校の様子をみてもらう
- ③道徳授業地区公開講座では、生徒の道徳性の在り方について考える機会とする
- ④スマート連絡帳を有効活用し、学校だより等をデジタル配信することで情報提供する
- ⑤地域行事参加を推進するために、家庭に周知し生徒を積極的に参加させる。
- ⑥「あいさつ」「あとしまつ」と「心に届く一言運動」を小学校と連携し展開していく。
- ⑦第八小学校との連携では校長や生活指導主任が定期的に訪問し連携を図る。
- ⑧児童・保護者の具体的で確かな情報授受、諸帳簿等の円滑なやり取りを確実にを行う

#### (7) 安全管理及び安全教育を推進する

- ①生徒、保護者、地域と連携し防災教育に努める
- ②九中危機管理マニュアルに基づき、危機未然防止管理、危機最小管理、危機転化管理の徹底を図る
- ③毎月の避難訓練の実施と安全教育で日頃からの危機意識と対応力を高める

#### (9) ワークライフバランスに通じる教員の組織体制の充実

- ①各会議の議事録を共有し職務の効率化を図る
- ②組織対応を行うことで服務事故を起こさない
- ③支援員を活用し、教員の職務の効率化を図る。学校経営支援予算を有効に活用する
- ④ICTを活用して学校業務のスリム化を目指す
- ⑤計画的に人材育成を行うことで組織が発展し形骸化しないようにする
- ⑥クラブ活動も地域人材を充てクラブ活動に支援、参画してもらう

#### (10) 家庭・保護者に対し

- ①評価評定の在り方や、指導方法について考え方や具体的な方法を保護者に対し明確

な説明ができるように透明性のある説明を行う。

②保護者の私費負担額を維持する